

科目名	和声法ⅡE	形態	演習	開講期	秋学期
担当教員	柴田 篤志	単位	1	年次	1

＝授業科目の目標＝

和声学の基礎を学びます。使う和音はⅠ、Ⅱ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵです。ただし、使う調性はハ長調とハ短調のみです。

＝履修の条件と学習の方法＝

授業一回ごとに「本日の到達目標」を明示します。それが出来るようになったら次のステージに行きますが、こなせなかった場合は次の授業も同じ目標にトライしますので、授業を休むと宿題がどんどん増えます。宿題が嫌なら、出席して下さい。

＝授業内容＝

- 1 授業の進め方について（ガイダンス）
- 2 音階の音度と三和音について、根音、第三音、第五音について
- 3 密集、開離と最高音について
- 4 共通音のある三和音の連結について
- 5 共通音のない三和音の連結について
- 6 禁則について、各声部の音域について
- 7 トニック、ドミナント、サブドミナントについて
- 8 V→Ⅰの連結と「限定進行音」について
- 9 カデンツについて
- 10 K1 課題 バス二音
- 11 K3 課題 バス二音
- 12 K2 課題 バス三音
- 13 バス三音以上、複合カデンツ課題
- 14 総復習（未習得課題の確認）
- 15 基本位置和音（ハ長調、イ短調）の連結まとめ

＝成績評価の方法と評価の基準＝

作曲法Ⅰで基本位置和音の連結が理解できていないと、Ⅱの課題に対応出来ません。何が何でもここまでは到達して戴きます。ここまで来られなかった人は、補修があると思って下さい。

各授業では小テストがありますので、計 15 回の「合格」をもらっていただければ単位認定です。10 回までは単位認定しますが、9 回未満は単位が出ません。単位が出るまでは永遠に補修です。

＝その他＝

教科書として「島岡譲 和声—理論と実習 (1)」を必携とします。